

令和 6 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	令和 6 年 4 月 24 日(水)	時間	13 時 45 分 ～14 時 15 分	場所	市立伊丹病院 くすのき講堂
出席者	委員： 吉村委員長(伊丹市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長)、代理 原委員(尼崎市医師会副会長)、中村副委員長(伊丹市歯科医師会会長)、須藤委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長) 福井委員(伊丹市消防局長)、松尾委員(伊丹市健康福祉部長)、藤本委員(宝塚市健康福祉部長) 阪上委員(川西市健康医療部長)、中田委員(伊丹市病院事業管理者)、筒井委員(市立伊丹病院病院長)、中村委員(市立伊丹病院地域医療連携室主任部長)、伊東委員(市立伊丹病院地域医療連携室部長)、土井委員(市立伊丹病院看護部長) 委任状： 栗田委員(宝塚市医師会会長)、織田委員(川西市医師会会長)、細田委員(学識経験者)、喜多委員(三田市総合政策部地域医療推進担当部長)、藤本委員(市立伊丹病院事務局長) 欠席： 千葉委員(伊丹市薬剤師会会長) オブザーバー(市立伊丹病院)： 森田(副院長)、下山(診療部長)、鴻野(医療監)、萩原(放射線診断科主任部長)、渡辺(医療技術室長)、上田(薬剤科長)、加藤(医事課長)、丸(総務課長)				
議題 内容	■ 開会のごあいさつ 昨年 5 月に新型コロナウイルス感染症も 5 類となりましたが、病院では経営等にまだ影響が残っていると思います。今年は診療報酬改定等ありますが、統合に向けて支援していきたいと思います。本日は、ご討議のほどどうぞよろしくお願いいたします。 ■ 委員紹介 席次順に紹介 出席者過半数を超えているので本会は成立することを報告。 本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第 2 条ならびに第 3 条による公開となっており開催案内したが傍聴希望者は無。 ・本委員会は議事録作成のため録音している ・会議録の記載内容 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載無し 第 18 条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開 ■ 議事署名人の指名について(2 名) ・吉村委員長より指名 中村副委員長、福井委員に依頼したい 両者共に了承 ■ 議事 1) 紹介患者に対する医療提供について - 資料 1-① ～ 1-⑤ に従って説明 - 資料 1-① 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率 ・令和 5 年度地域医療支援病院紹介率は 91.6% 逆紹介率は 115.8%で承認要件を充たしている。 - 資料 1-② 紹介患者紹介項目内訳 ・令和 5 年度は診察依頼と検査依頼を含め 19,533 件で前年度と比較して 658 件増加している。				

資料 1-③ 令和 5 年度 科別紹介患者入院率

- ・総入院患者数の 42.0%が紹介を受けた患者で前年度と比較して約 4%増加している。

資料 1-④ 令和 5 年度 患者住所地別紹介患者数

- ・地域医療連携室経由の紹介患者は伊丹市が 77.5%で前年度と比較して約 0.2%増加している。

資料 1-⑤ 令和 5 年度 地域医療連携室利用割合

- ・地域医療連携室の利用割合は 88%で前年度と比較して 1%増加している。

2) 救急医療の提供について

資料 2-①、資料 2-②に従って説明

資料 2-① 救急外来患者数調書

- ・令和 5 年度救急患者数は、7,361 件で前年度より 93 件増加している。入院化率は前年度より 2.6%増加している。

資料 2-② 救急搬送の応需困難状況

- ・令和 5 年度お断り率は 29.9%で前年度より 11.2%減少している。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 に従って説明

- ・令和 5 年度 地域医療従事者対象研修会開催一覧

研修会はウェブ研修を含めて 24 件開催し、院外より 466 名の参加があった。承認要件の 12 回を満たすことができた。

4) 開放病床の運用実績について

資料 4 に従って説明

- ・開放病床の平均利用率は 4.3%で問題なく運用できている。

5) その他

- 新型コロナ感染症含め、今後の感染症対策について

- ・少なくともはなっているが、未だ入院患者からも新型コロナ感染症の感染者が出ているため

1 病棟は感染症専用病棟として運用継続しており、一般診療に影響を及ぼさない形で対応している。重症患者は減少しているが、慎重に対応している。新病院については、感染症対策に対応した設計となっている。

質疑応答

資料 1-② 紹介患者紹介項目内訳

質問:下部消化管内視鏡検査は検査依頼に含まれているのでしょうか？

回答:上部消化管内視鏡検査については、ダイレクト検査であるため検査依頼件数に含まれています。

一方、下部消化管内視鏡検査はダイレクト検査ではなく、検査前診察が必要なため、診察依頼件数に含まれています。

資料 1-⑤ 地域医療連携室利用割合

質問:コロナ禍からの改善の兆しについて教えてください。

回答:救急搬送のお断り件数や地域医療連携室を介さず来院される(直来)患者が減少し、全体の件数が増加しています。

資料 2-② 救急搬送の応需困難状況

質問:応需困難件数が大幅に改善されているとのことですが、「その他」と「処置中」の項目について内容を教えてください。

回答:「処置中」の件数については、陰圧室や配列の改善、所要時間の短縮等により効率を良くしたことが、お断り件数の減少に繋がったと考えられます。「その他」の内訳については、安静目的のため適応外としてお断りしたケースが大半を占めています。また、令和 5 年度より「その他」の内容を見直し、分類、細分化したことにより、数値が振り分けられたため件数が減少しています。

質問:救急搬送する立場からこの1年を振り返り、変化はありましたか？

回答:消防局では暦年で統計を取っているため、データが完全には一致しませんが、救急搬送数は12320件、前年比で4%増加しました。令和6年に入り、既に3000件を超えており、前年比で5%の増加となっています。この状況から令和6年は更に増加が予想されます。搬送先も市内での増加が見られ、市立伊丹病院への搬送も応需率が高まっており、喜ばしく思っています。今後も引き続き受け入れをお願いしたいと思います。

資料4 開放病床の運用実績について

質問:主な利用の診療科はどこですか？

回答:眼科の白内障手術による利用が主です。

■ 閉会のごあいさつ

本日は、お忙しい中、市立伊丹病院地域医療支援委員会にご出席賜り誠にありがとうございました。

昨年度は、COVID-19が5類感染症へ移行し、多くの方々がポストコロナの時代の到来を心待ちにしておりました。しかしながら、診療の現場では依然としてCOVID-19との共存を迫られ、厳しい状況が続いています。このような状況下でも、皆様の継続的なご支援により、令和5年度の診療実績が地域医療支援病院としての要件を満たすことが出来たことを深く感謝申し上げます。

昨年度の医療提供状況を振り返りますと、初診患者数は一昨年度と比べ1211人(6.2%)減少いたしましたが、紹介患者数は皆様のご支援により、一昨年度と比べ678人(4.7%)増加し、新型コロナウイルス感染拡大前の平成30年度と比べても895人増加しました。救急外来患者数については、救急搬送患者数が一昨年度と比べ526件増、一方でウォークイン患者が433名減少し、総数は93名増となりました。一時的な受入れ中止や、軽症者の救急受診控えが影響していると考えられます。昨年11月には、救急外来の初療室を統合新病院の初療室と同じ仕様に改修し、救急患者の受入れ機能の改善と統合新病院初療室の事前評価の施設面での取り組みを開始しました。本年度は、救急初療の現場に、診療看護師2名、救急救命士3名を新たに採用し、新たな看護体制を整備するとともに、統合新病院における救急医療の整備に向けて診療機能面でも新たな取り組みを開始しました。今後も、統合新病院における救命救急センターの取得を目指して、診療体制や人員の整備を進めていきます。

本年度新たに科主任部長として赴任されたのは、小児科の指原淳志先生と小児外科の野瀬聡子先生です。また眼科の植松聡先生と、麻酔科の外間之貴先生が科主任部長に昇任されました。

教育面では、昨年度当院の医師臨床研修への応募者は95名(倍率9.5倍)となり、本年度も医科10名の臨床研修医を迎えることが出来ました。大阪大学とのたすき掛けで2名の臨床研修医を受け入れますので、臨床研修医は1年目12名、2年目10名、さらに歯科臨床研修医1名が在籍しております。2年目の研修では地域医療研修でお世話になる予定です。本年度も引き続き、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。専門研修では、内科、整形外科、麻酔科が研修基幹病院として認定されており、専攻医38名が専門医の取得を目指して研鑽を積んでいます。

本日はご出席いただき誠にありがとうございました。統合新病院へ向け、医局棟や外来等の移転などが控えており、一時的なご不便をおかけすることもあるかと存じますが、引き続き市立伊丹病院へのご支援を心よりお願い申し上げます。

■ 謝辞

地域医療支援委員の皆様には、お忙しい中、また季節的には少し暑くなってきています時期ですが、「令和6年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会」にご出席頂き、ありがとうございます。いつも委員長をお願いしています吉村史郎先生を始め、委員の皆様には、本委員会だけではなく、当院の診療に多方面からご支援、ご協力をいただいていますことにお礼申し上げます。

私からは進行しています統合新病院についての現状をお知らせさせていただきます。外から見ても分かるようになりましたが、新しく東棟、職員宿舎・保育所棟、立体駐車場の外郭は出来上がってきており、今は主に内装工事に移行しています。出来上がり次第、まずは医局が6月末に、外来診察部門が8月始めに、検査部門が8月中頃に移転する予定です。個人使用と部門の物品移送が大変になると考えていますが、8月13日(火曜日)から

の東棟での外来再開を目指しております。なお、平日の外来診療は休むことなく稼働させ、救急外来は一部で縮小対応をさせていただく予定としています。詳細につきましては分かり次第、病院 HP や医師会等を通じてお知らせさせていただきます。

近畿中央病院の跡地につきましては、本年 2 月に伊丹市から住民に対してご説明をして頂いていますが、おそらく私的な病院に来て頂くようになると思っています。当院としましても回復期の患者を引き受けて頂けるような病院であれば、お互い協力関係として助けあえるのではないかと考えております。来ていただく病院につきましては、伊丹市医師会から適切な病院を複数推薦していただき、できるだけ早期に開院していただけるようご協力をお願いしたいと考えております。

本日は、地域医療支援委員会にご出席いただき、ご審議をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

別紙のとおり「令和 6 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者

令和 6 年 5 月 29 日

吉村史郎 印

別紙のとおり「令和 6 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人

令和 6 年 5 月 30 日

中村義盛 印

議事録署名人

令和 6 年 6 月 3 日

福井浩次 印